

生活福祉資金貸付制度のご案内

支援を受けることにより自立した生活ができると認められる低所得世帯、障害者、高齢者の属する世帯を対象に、資金貸付の相談を行っています。本貸付制度は資金種類ごとに要件・条件があります。詳細については、本部 (Tel:85-7024) へお問い合わせください。



また、現在、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等により生活資金でお悩みの世帯に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を実施しております。特例貸付の詳細は、本会ウェブサイトに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

※貸付には審査があります。希望するすべての方にお貸しできるものではありません。

138sk

検索



車いす使用の職員発信

車いすと いっしょに

第12回「車いすと寒さ対策」

移動の妨げとならないよう、防寒具の選び方を工夫しています。以前、雨天時に頭から被れる合羽を紹介しましたが、冬場にもフードがついたポンチョが活躍します。コート類より生地が薄いぶん、着たままでも車いすがこぎやすく便利です。車いすの車輪は冬場に素手で回すとかなり冷たいので、外出するときは手袋をします。以前は滑り止めがついた、長い5本指のものを使っていましたが、こぐ時の滑りやごわつきを和らげるために、滑り止め無しの短いものに替えました。このほか身に着けるものでは、その場で着脱しやすいネックウォーマーも重宝しています。どれも冬場に欠かせない必需品です。(小鹿)



障害者スポーツの紹介

「ユニバーサルリレー」

ユニバーサルリレーは、東京パラリンピックから正式種目に採用される競技です。チーム構成は男女混合2名ずつと決まっており、4人が100mずつ走ります。最大の特徴は走者の引き継ぎで、バトンを渡す代わりに、体に触れて次の選手に繋がります。選手ごとの規定も大切な要素です。視覚障害がある選手には伴走者がつくため、選手がレーン上に3人いる状態で次に渡ります。最終走者である競技用車いすを使う選手にタッチするための区間は、他より10m長くなっています。リレーは元来連携がカギになりますが、より正確なつなぎが求められる競技です。

